



大阪浪華錫器-伝統工芸品の美しさを学ぶ

追手門学院小学校 6年生 錫器作り体験

追手門学院小学校(校長:東田 充司)では、1月26日(木)、6年生児童が錫器(すずき)作り体験を行います。社会科体験授業の一環として、約10年前から大阪錫器作りの体験を行っています。大阪錫器の歴史は長く、江戸時代中期に京都から伝えられ、金・銀と同様貴重品として扱われていました。

講師に、大阪錫器協同組合 伝統工芸士 今井 達昌氏ほか、職人の方12名を迎え、大阪錫器の歴史や伝統工芸品などについて学び、錫器作り(小皿)を体験します。小皿の元となる直径約10センチの錫の円盤を模様槌で叩いて模様を付け、その後木の型を使って形成していきます。繊細な素材である『錫』に思い思いの模様をつけられ、世界に一つだけの作品を作ります。子どもたちにとって、普段なかなか触れることのできない、大阪工芸品の美しさや気品に触れる貴重な体験となり、“ものづくりをする職人さんの苦労”を学び、また自ら体験することによって、物作りの大変さ、物を大切に作る気持ちを育てていきます。



体験の様子(昨年度)



完成した小皿(昨年度)

今井 達昌氏 経歴

1999年 『大阪浪華錫器』伝統工芸士の認定を受ける。

2001年 大阪市より、大相撲3月場所の優勝力士に贈る大阪市長賞の製作。

2012年 厚生労働大臣より”卓越した技術者表彰(現代の名工)”を受ける。

報道関係の皆様におかれましては、錫器作り体験をしている児童たちの様子取材いただければ幸いです。

- | | | | |
|---------|--|------|--|
| 1. 名 称 | 追手門学院小学校 6年生 錫器作り体験 | | |
| 2. 日 時 | 平成29年1月26日 | <体験> | 9:05~12:30
約50分1クラスずつ |
| | | <講話> | 9:05~9:45 (2クラス)
11:50~12:30 (2クラス) |
| 3. 場 所 | 追手門学院小学校 AVホール・第1理科室
大阪市営地下鉄 谷町線「天満橋」、JR「大阪城北詰」より徒歩 | | |
| 4. 参加人数 | 6年児童 教員数名 約160名
伝統工芸士 今井 達昌氏 大阪錫器(株)より講師12名 | | |

この資料の配付先:大阪教育記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL:072-641-9590 坂倉・塩田